



「我が鶴居村に感謝」

～林業経営から地域活動へ～

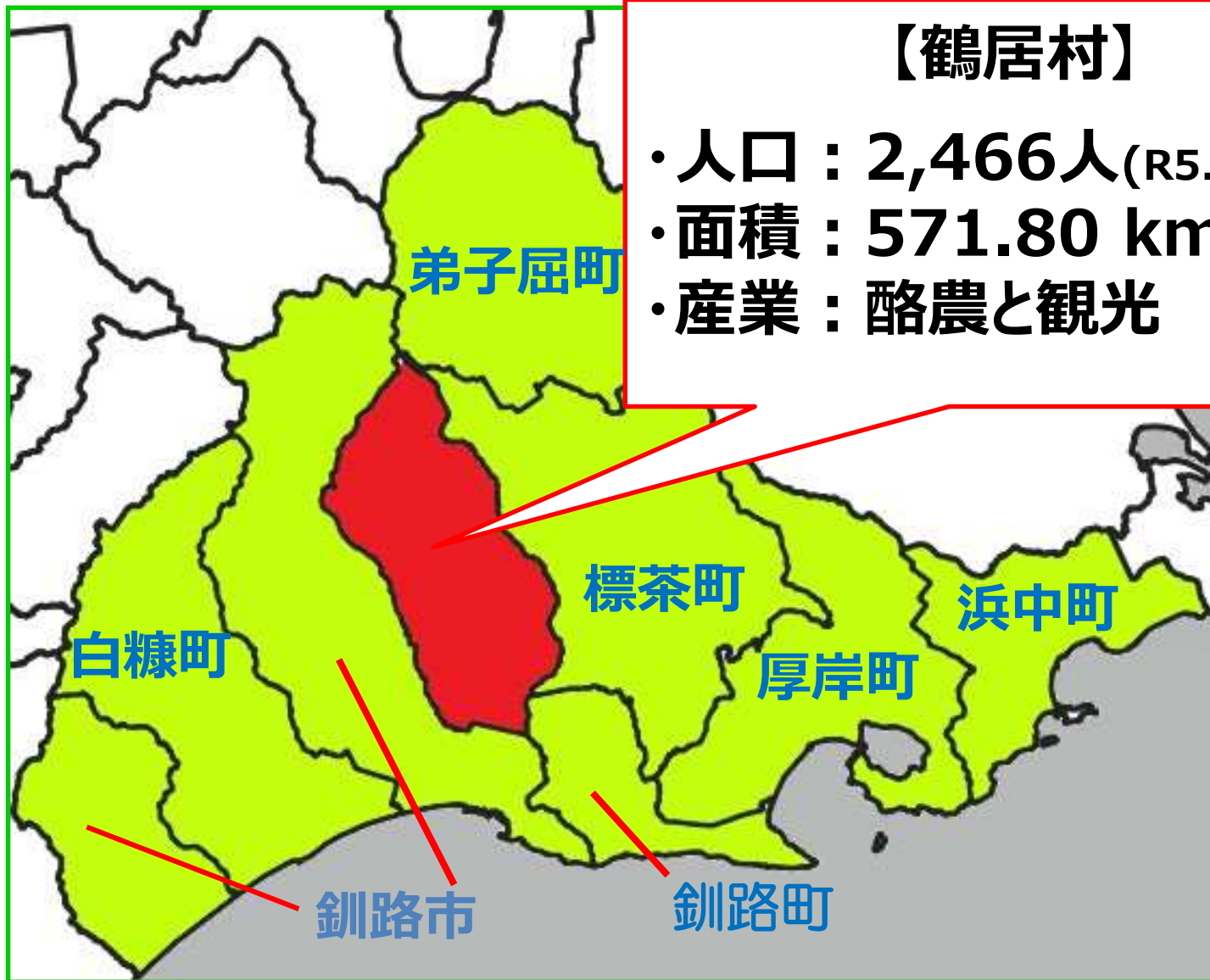
北海道指導林家

伊藤順一

発表内容

- 1 鶴居村の紹介
- 2 私と山づくり
- 3 指導林家として
- 4 今後の取組

1 鶴居村の紹介



【鶴居村】

- ・人口：2,466人(R5.12月末)
- ・面積：571.80 km²
- ・産業：酪農と観光

1 鶴居村の紹介

■ 観光（タンチョウの生息・繁殖地）

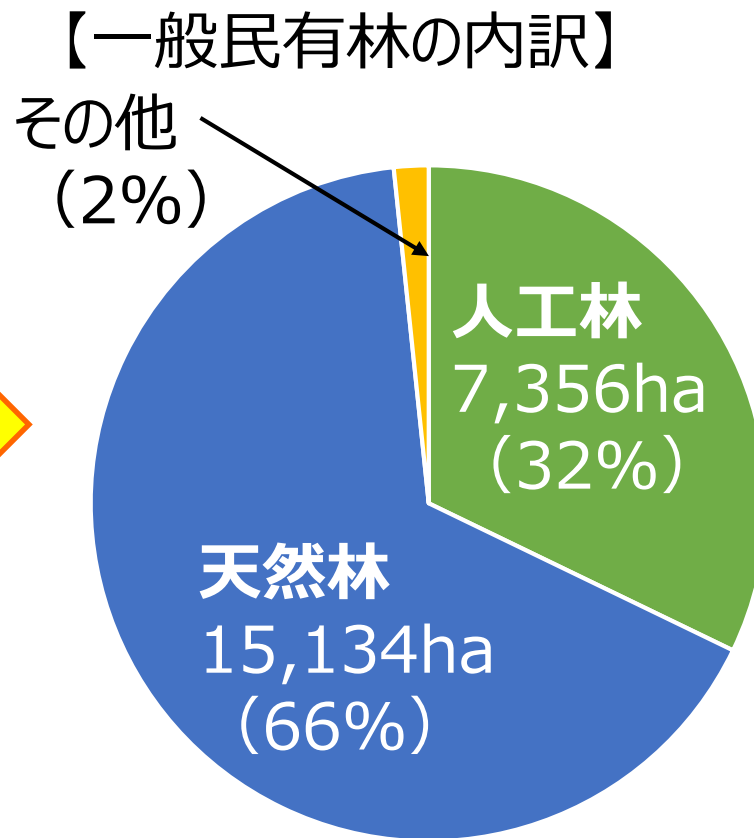
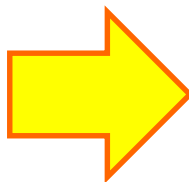
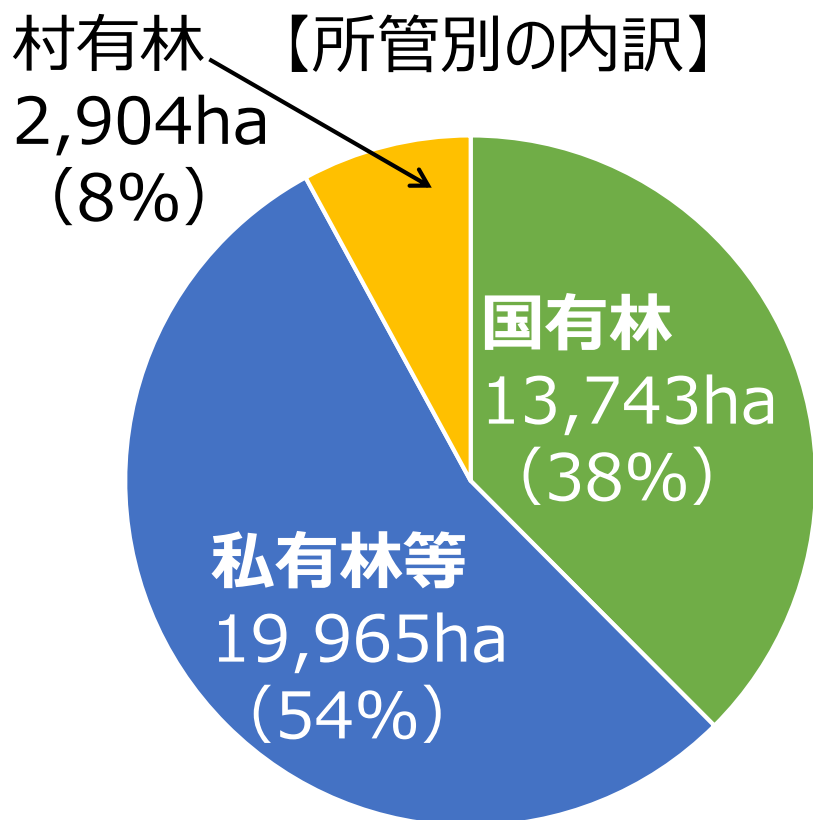
- 鶴居村の名前の由来にもなっている。
- 鶴居村では、一年を通じてタンチョウを観察することができる。



1 鶴居村の紹介

■ 鶴居村の森林：36,612ha

うち 一般民有林：22,869ha（62%）



2 私と山づくり

(1) 私と山との関わり

- 昭和26年鶴居村生まれ
- 昭和50年
父親から経営移譲される。(現在4代目)
- 平成5年
父親が所有していた山林も引き継ぎ森林所有者になる。
- 平成19年
牧場経営を法人化し、酪農経営の効率化を図っている。
(株)伊藤デイリー設立

2 私と山づくり

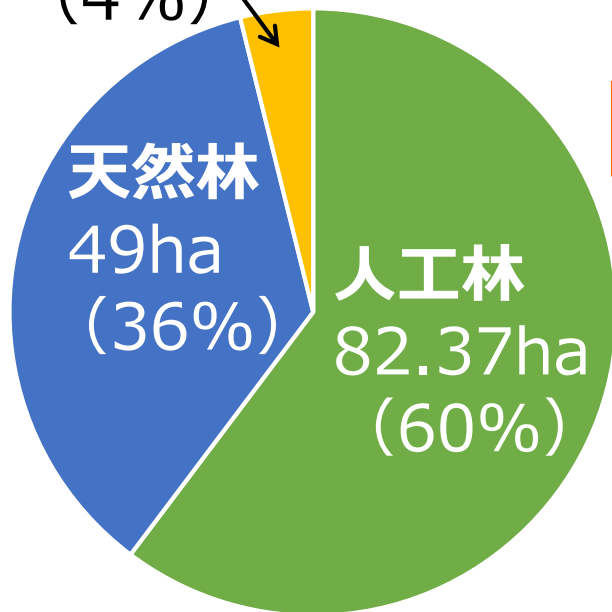
(2) 所有山林について

【所有面積：136.66ha】

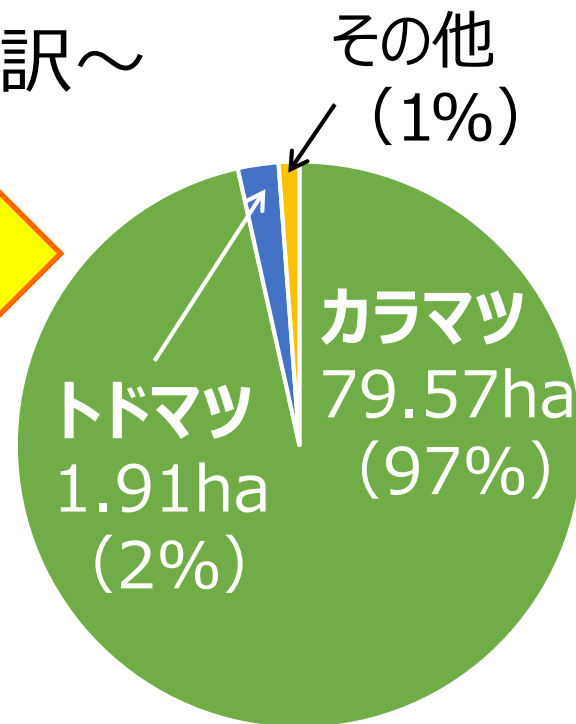
- ・カラマツ：79.57ha (58%)
- ・トドマツ：1.91ha (1%)
- ・天然林：49.00ha (36%)

その他
(4%)

～所有山林の内訳～



人工林の内訳



2 私と山づくり

(3) 経営の方針について



- ・カラマツを主体とした山づくり
- ・伐採作業では林業機械の走行路を限定し、地表面の攪乱と残存木への損傷を抑える。
- ・収穫した木材は自社の畜舎建設等に積極的に使用する。

2 私と山づくり

(4) 所有山林で学んだこと



- 適期での間伐の重要性
- 主伐と再造林を繰り返すことによる安定的な収入の確保
- 樹種や成育状況に応じた施業の必要性
- 地材地消による循環型林業経営

3 指導林家として

(1) 地域の森林所有者代表としての参加



「鶴居村森林整備計画実行管理推進会議」構成員

3 指導林家として

(2) 鶴居村林友会（林業グループ）



「鶴居村林友会」会員に講義

3 指導林家として

(2) 鶴居村林友会（林業グループ）



【主な活動】

- ・村内イベントの場での木育コーナーの開催
- ・鶴居村民の森での維持管理
- ・林業後継者への技術支援

【令和5年度の活動】

- ① 村民の森草刈り（令和5年8月：鶴居村）
- ② 視察研修（令和5年10月：宮崎県）

3 指導林家として

(2) 鶴居村林友会（林業グループ）



「北海道社会貢献賞」を受賞

(R5.12.19)

3 指導林家として

(3) 釧路管内指導林家連絡協議会



【令和5年度の取組】

① コンテナ苗生産施設の視察

(令和5年4月：白糠町)

② 釧路森づくり交流会における下刈り機械の
あり方検討

(令和5年10月：浜中町)

3 指導林家として

(4) 釧路管内指導林家連協・林業グループ連協研修会



南富良野町
「魚骨型列状間伐実施地」

東神楽町 木質バイオマス利用施設

3 指導林家として

(5) 「農林水産祭参加全国林業経営推奨行事」林野庁長官賞受賞



永田 大日本山林会会長と一緒に（東京都）（R5.11.2）

4 今後の取組



■ 木材資源の循環

- ① 地域材の利用
- ② 地材地消の情報発信

4 今後の取組



■ 後継者の育成・確保

- ① 地域に根ざした林業経営活動
- ② 地域の環境づくり奉仕活動
- ③ 青少年への健全育成活動
- ④ 家族ぐるみ・地域ぐるみの活動



我が鶴居村に感謝。

ご清聴ありがとうございました。